

神経研究所 所内セミナー

日時：平成 30 年 10 月 17 日（水） 17：30 ～ 18：30

場所：教育研修棟 多目的室

演者：順天堂大学大学院医学研究科泌尿器外科学
堀江重郎教授

演題：テストステロンの機能と健康リスク

内容紹介：

テストステロンは、男性の1次性徴、2次性徴に必須であるが、女性においても、エストロゲンより遥かに多く分泌されている。テストステロンは生命維持には直接関係しない一方で、社会生活、特に男性性のジェンダーにおいて重要である。テストステロンの減少は、抑うつ状態、性機能低下、認知機能の低下、骨粗鬆症、心血管疾患、内臓脂肪の増加、インスリン抵抗性の悪化、HDLの低下、コレステロール値とLDLの上昇に寄与し、メタボリック症候群、心血管系疾患、糖尿病、呼吸器疾患のリスクを高める。大規模なコホート研究では、テストステロン値は死亡リスク、心血管疾患死亡リスク、癌死亡リスクと関連し、テストステロン値が高いと長寿の傾向があることが報告されている。したがってテストステロン値は、加齢に伴う生活習慣病に関係する疾患バイオマーカーといえる。

このセミナーでは、最近解明されてきたテストステロンの作用と、テストステロンの減少に伴う健康リスク、治療について議論する。